

3月闘争勝利の中間総括を起点に 反処分・生活防衛・81春闘勝利へ

日刊 動労千葉

81.4.1
No. 704

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六、公衆電話（千葉）二七二〇七

3/30 才三回定期委、当面する闘いの基軸を決定

動労千葉は、三月三〇日、才三回定期委員会を開催し、労農連帯を堅持、発展させ、動労大改革―労働運動の戦術的再生を目指し、一三〇〇名組織の命運をかけて闘いぬいた三里塚空港ジェット燃料貨車輸送延長阻止・三月決戦闘争に勝利したことを総括し、切迫化する報復的大量不当処分攻撃粉碎、八一春闘勝利へむけた断固たる闘争方針を確立した。

三月決戦闘争 闘いの総括視点を確認

委員会は、委員・傍聴者五〇名が結集し、西森執行委員の開会宣言をうけ、資格審査、成立宣言の後、議長に津田沼支部・山下委員を選出、議事に入っていた。「経過報告」で三月ジェット決戦闘争の中間総括と八一春闘を中心とする取組みについて、「協約・協定」―「暫定予算」等が執行部側より提案された。

委員会は、まず、一三〇〇千葉「地本」をツツ上げ「再建」粉碎、銚子支部「再建」策動粉碎の闘いに踏まえ、着を持って闘い抜いた二〇三月総力戦、とりわけ助役花崗士線見阻止闘争から始められた、歴史的三月ジェット決戦闘争について、

才一に、動労千葉組合員が「動労千葉とはこういう組合なのだ」と誇りうる財産を創りあげた闘いであり、
才二に、三里塚情勢を大きく切り拓いた闘いであり、
才三に、八一春闘の突破口を切り拓くことを通して国鉄労働運動の戦術的再生―階級的・戦術的潮流を創り出す橋頭堡を構築した闘いであり、

才四に、権力・当局と「本部」をト破り集団一体となった動労千葉破壊―差別的労務政策を粉碎し、秋山労政の不当性を満天下に明らかにし、一三〇〇労働者の首都圏を覆かんさせる底力を示し切った闘いであった事を確認した。

そして、この確認に踏まえ、労農連帯・三里塚・ジェット闘争勝利へ向け、闘いぬく中から、八一春闘勝利、国鉄35万人体制粉碎、木原線廃止反対の闘いを、地域住民と連帯し、闘いの一大高揚をつくり出していくことが力強く確認された。

確認された方針と闘いの進め方 ― 81春闘、不当処分粉碎 ―

基本

81春闘を「反処分・反合理化・生活防衛・労農連帯」春闘と位置付け、創意あふれる強靱不屈な闘いを組織しつつ闘う。

○賃金要求については、第五回臨時大会決定にもとづき四月中旬用途に回答を求め交渉を強化する。国鉄当局の一方的調停申請に対しては、団交の延長として位置づけ、民間準拠のあり方、格差問題を重点に追究し、調停決着をめざす。

○三月闘争に対する不当処分に対しては、マル生粉砕闘争の教訓を生かし長期戦に備え、強い非協力闘争を含む創意的闘いを組織すると共に裁判闘争を強化する。処分粉碎、戦術的春闘の再構築のために地域住民、支援団体組織との日常的連帯行動、労働者思想にもとづく運動をつくり出す。

その他 ○千葉県知事選 ↓ 上野建一候補を推せんし、心勝を期し、闘う。 ○組織強化 ↓ 春闘を通じて地域班小組班、家族を含めた一体化活動強化。 ○銚子支部早期結成 ↓ 春闘を通じて強化する。